

鷹取山自然観察会会報

2020.6.14 NO.28

鷹取山の植物相調査結果 — 2019年調査 —

鷹取山は三浦半島北部に位置し、神武寺から繋がる自然豊かな場所として、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定された場所です。鷹取山自然観察会では2013年11月から会員有志で植物相調査を開始し、今回で6年間実施したことになります。これまでの調査結果については会報12、16、20、24号で報告してきましたが、今回は、前回の結果を含めて2019年1月～12月までの調査について報告します。

1. 調査範囲及び区間別の特徴

鷹取山周辺は鷹取山公園を中心として尾根沿いに緑地が広がっていて、西側には沼間～神武寺まで広大な緑地となっています。この地域の全てを調査することは困難であることから、神武寺に至る逗子側を除き、横須賀市側について植生の違う場所を選定して行っています。選定した調査区間は調査ルート3.5kmとし、植生の違う6区間に区分しています。各区間の植生の特徴は表1に記載したとおりです。

表1 調査区間の植生など特徴

区間	植生など特徴	距離
A	鷹取山公園落葉広葉樹林、一部草地も含む	540m
B	市街地の舗装道路及び公園	600m
C	シイ、カシ等常緑広葉樹林、一部桜並木含む	1300m
D	コナラ、オオシマザクラ等落葉樹林	270m
E	スギ林縁部（逗子沼間自然環境保全地域境界）	540m
F	畑地及び林縁	230m

2. 調査方法

2016年2月に環境省自然環境局生物多様センターが主催するモニタリングサイト1000里地調査の一般サイトに鷹取山が登録されました。これにより、環境省自然環境局及び日本自然保

護協会における「モニタリングサイト1000里地調査（モニ1000里地調査）マニュアル」により行っています。



調査は毎月1回、第2金曜日に行っていて、モニ1000調査マニュアルでは、木本及びシダ類、イネ科、カヤツリグサ科は除いてもよいことになっていますが、維管束植物のすべてを調査しています。シダ類については6、10月の年2回調査しています。

種名は木本類、草本類に分け全員で確認の上記載しています。記載方法は、原則として蕾、花、実の状態を記載し、種が不明なものについては標本を採取し、後日博物館等で同定・確認するなどしています。

3. 調査結果

(1) 鷹取山の植物相

2019年までに確認した区間別の調査結果は表2のとおりであり、種数の総数は689種でした。内訳は草本65科432種、木本63科202種、シダ植物16科55種でした。

毎年種数は増加していますが、調査を重ねることにより見逃しが少なくなったためと思われます。区間別の調査結果は表 2 のとおりです。

表の中で観察路以外として六浦方面、浜見台方面、鷹取川上流の植物種を追加しました。

表 2 区間別の調査結果

区間	A	B	C	D	E	F	全区間	観察路以外	総計
草本	294	257	228	169	148	167	413	19	432
木本	133	75	109	97	86	80	194	8	202
シダ類	32	21	27	29	14	21	54	1	55
合計	459	353	364	295	248	268	661	28	689

図 2 帰化植物と在来種の割合

(2) 帰化植物

調査区間の自然度を見るため、草本類について毎年、帰化植物と在来種の分布割合を調べています。帰化植物とは、外国原産の植物で、牧草用や鑑賞用として輸入されたものが野生化して各地に広まっていった植物です。一方、日本に古来から生育している種は在来種といわれています。また、逸出種という栽培種が野生に入り込むものがあり、逸出種も帰化植物に入れています。一般的に都市化が進むと帰化植物が入り込み、在来種の生息域を狭めてくることが知られています。今回、区間ごとの帰化率は図 2 に示したとおりです。区間全域では帰化率 28%でした。



2019 年の調査に参加した人（敬称略）

本多久男、金子龍次、小池順子、中村紀雄、三科清高、島村健二、伊沢昭司、原秀子、竹之下香苗、村上良二、郡司久、市川實、伊藤保信、高橋和子

総会の開催（報告）

鷹取山自然観察会は、毎年 5 月の自然観察会終了後に総会を開催してきました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令され、自然観察会、総会も中止としました。

このため、今年度はメール等で総会資料を送付して周知を図りました。その上で、昨年度の会計報告と今

年度の事業計画案、予算案は了承していただきました。今年度の事業計画は昨年度とほぼ同様であり、事業計画は次のとおりです。

当会の活動は、子供から大人まで地域住民に自然環境の大切さを認識してもらうため、自然観察を通して

自然保護の大切さを呼びかけ、「自然観察の里山づくり」を目指していきます。

令和 2 年度事業計画

1. 自然観察会の開催

(1) 定期的な自然観察会の観察会の開催

実施時期 毎月第 2 日曜日

雨天の場合は翌週に延期

2. 植物相調査など生き物調査

環境省のモニタリングサイト 1000 里地調査により植物相及び蝶、鳥類について調査 ルートを歩き、記録する。また、セミの抜け殻調査などを行う。

(1) 植物相調査 第 2 金曜日

(2) 蝶類調査 4 月～11 月の間 第 1、3 金曜日

(3) 野鳥調査 越冬期：12 月～3 月の間

第 1、3 金曜日に 1 往復

繁殖期：5 月 22 日、6 月 9 日、26 日に 1 往復

(4) セミの抜け殻調査 7 月 24 日金曜日、

8 月 28 日金曜日 2 回

(5) 鷹取川の水辺環境調査

(6) 「鷹取山の自然」の印刷及び配布

3. 樹木板の設置

鷹取山公園を中心に平成 25 年から樹木板を設置している。今年度は引き続き掛け替えを行う。随時

4. 巣箱の掛け替え

平成 25 年から野鳥の保護と野鳥観察を目的として巣箱掛けを行ってきた。現在約 17 個の巣箱が掛かっており、その掛け替え作業をする。

実施時期 令和 2 年 11 月 20 日金曜日

5. 会報の発行、掲示板などによる情報発信

(1) 会報 年 4 回 (6 月、9 月、12 月、3 月) 発行し、会員、横須賀市長、横須賀市博物館、県博物館、横須賀市・逗子市・神奈川県自然環境関



係機関、地元横須賀市会議員、横須賀市自然環境活動団体交流会、鷹取山安全登山協議会などに送付する。

(2) 掲示板

鷹取山公園に市が設置した掲示板を活用し、季節の花だより、山で見られる蝶、野鳥、ドングリ、樹木マップなどポスターを作成して掲示する。 掲示板 毎月更新

(3) ホームページの更新 随時更新する。

6. 鷹取山公園の利用について

鷹取山公園を管理している横須賀市と昨年度「鷹取山公園等を自然観察の里山づくりの利用について」として協定を結び次の活動をする。

(1) 貴重種の保護を目的とした看板、柵の設置

(2) ビオトープ、貴重植物の保全活動

(3) 植樹活動など

7. 他団体との情報交換

(1) 横須賀市自然環境団体交流会

(2) 三浦半島まるごと博物館

8. 小学校などからの依頼

鷹取小学校などからの観察会の依頼があれば、協力していく。

これらの活動全てについて、会則に則り実施していますが、強制ではありません。
興味関心のあるイベントにご参加ください。

「鷹取山の自然」の刊行

鷹取山自然観察会では、鷹取山の動植物の調査結果を取りまとめた「鷹取山の自然 ～鷹取山の生き物調査から判ったこと～」を刊行しました。

当会では 2013 年から鷹取山の生き物調査を開始し、植物相、蝶類、鳥類など、毎月継続して行っています。2016 年には、環境省が主催するモニタリン

グサイト 1000 里地調査に登録して、国へ調査データを報告しています。鷹取山の植物相、動物相の一部について調査を続けることで、この地域の自然の実態が少しずつ分かってきたと感じています。今回、一つの区切りとして 2010 年代に調査した記録を報告することとしました。この報告書には鷹取山の地質、気候、緑地の現状、鷹取山の観察路などについても掲載しています。

この調査報告書は限られた部数を印刷しましたが、地元の学校、図書館、博物館、横須賀市、逗子市、神奈川県行政関係機関などに送付しました。そして、この貴重な地域の生態系を、子や孫の世代にも残して欲しいと願っています。

一般の方にも 2000 円で有償配布しています。5 月 1 日号のタウンニュースに掲載され、多くの方から問い合わせがありました。報告書を購入した方からは、「調査資料は、本当に詳細に調べられた成果と

感じられます」、「似ているような花でも違いが本を見て確かめる事が出来るので有りがたいです」、「鷹取の地層や地域の特色、6 年間の樹木の継続観察、植物図鑑と動物など想像以上の内容に、感動しながら読んでおります」、「近くに住んでいながら、知らない草花がたくさんあり、購入してよかったと思います」などの感想をいただきました。

タウンニュース 2020. 5. 1 号より

市民団体「鷹取山自然観察会」では、毎月定期的に実施している「生き物調査」の記録をこのほどこ一冊にまとめた。
2010年代の鷹取山

鷹取山の「自然」まるわかり

観察会団体が調査記録

の地質や気候、緑地の現状、植物・鳥類・蝶類の経年での分布状況を整理。動植物は特徴や生態の解説のほか、写真やイラスト＝写真＝で細かく紹介している。A4版フルカラー156ページ、一冊2000円で有償配布。問い合わせは同会本多やん takatori_0721@nifty.com



「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰

鷹取山自然観察会の活動が第31回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣から表彰されました。国土交通省では、毎年、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体に対し、その功績をたたえ、国民運動としての緑化推進活動の模範として「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰の受賞団体を決定しています。今年は全国で115団体、横浜、川崎を除いた神奈川県内では3団体が受賞しました。

本来であれば、5月16日に福井県福井運動公園において秋篠宮ご夫妻ご臨席のうえ、国土交通大臣表彰式等の式典および記念植樹が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、全ての行事が中止となってしまいました。

5月28日に横須賀市環境政策部藤田順一郎長から表彰状を頂きましたので報告します。

ちなみに、来年「第32回全国『みどりの愛護』のつどい」を横須賀市で開催することが決まっています。

「みどりの愛護」功労者受賞団体紹介より抜粋

たかとりやま し ぜんかんさつかい
鷹取山自然観察会

神奈川県横須賀市



当会は、平成23年から行っている自然観察会を契機として平成25年に設立し、鷹取山公園や周辺緑地からなる鷹取山を「自然観察できる里山にすること」を目標に活動しています。

主な活動は、毎月第2日曜日に一般の参加者を対象とした自然観察会を開催しているほか、地元小学校の自然観察に関する授業のサポートなどを行っています。

また、公園内において樹木板の設置、野鳥保護のため巣箱づくりと巣箱掛け、園内掲示板を活用した四季折々の植物、蝶、野鳥などのポスター掲示など、自然と親しむ活動を行っています。平成28年には「鷹取山の自然観察ガイドブック」の春夏編、秋冬編を作成し、観察会で活用するとともに地元小中学校の教材として配付しました。さらに、毎月会員によって植物相や鳥類、蝶類などの生き物調査を行い、その結果を会報などで発信し、地域生態系の保全に役立つよう積極的に取り組んでいます。



2020. 6. 12 植物相調査にて



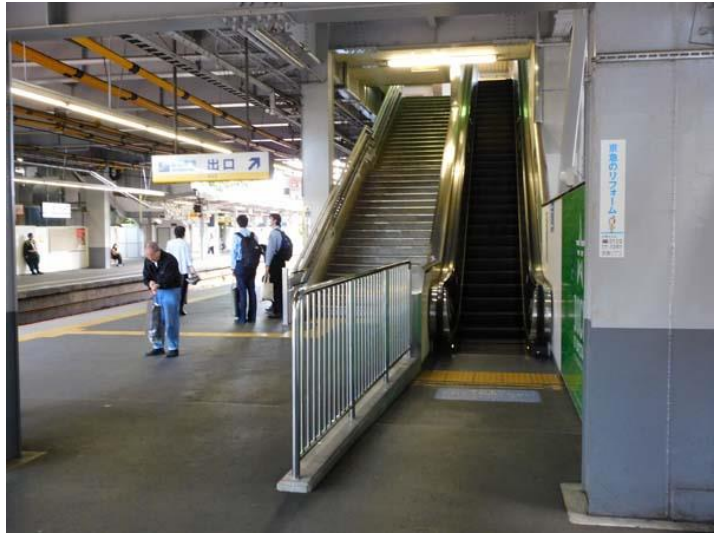
京急ホームの鳥の鳴き声

皆さん京急電鉄を利用していると思いますが、ホームへの階段で障害者誘導音声を聞いたことあると思います。鳥の鳴き声ですがどんな鳥かわかりますか。

日本人は古来より植物だけでなく、鳥の声、虫の声などに親しみ四季の移り変わりを感じてきました。野鳥に関心のある人は、鳥の鳴き声で季節感を味わうことができます。繁殖期にはシジュウカラ、ウグイスの囀り、少し遅れてホトトギスが鳴き始めます。モズは秋の季語にもなっています。モズの高鳴きが聞こえると秋も深まってきたと感じます。

京急電鉄の階段の障害者誘導音声はいつのころからか、障害者誘導音声は鳥の声になっています。京急ご案内センターに問い合わせしてみました。回答は次のとおりでした。

街には様々な喧噪音が氾濫し、若い人はスマホなどでゲームの人工音やデジタル音楽を聴いていて、自然から聞こえる音には全く関心がありません。時



にはイヤホンを外してみませんか。

外出自粛が続いていますが、散歩したときに鳥の鳴き声、虫の声など聞き入ると何故か気持ちが豊かになります。

京急ご案内センターの回答

当社線での障がい者誘導音声についてホームと改札口で音声が異なります。①下りホーム（ホオジロ・鳥の声）②上りホーム（カッコウ・鳥の声）③島式ホーム用（県立大学駅、黄金町駅など）（ウグイス・鳥の声）④改札用 チャイム音（誘導鈴）以上のように音声を分けております。

今後も当社線のご利用に不慣れなお客さまにも安心してご利用いただけるよう、音量ならびに音質について整備を行い、わかりやすいご案内に努めてまいります。

今後とも、京急電鉄をご利用くださいますよう、お願い申し上げます。

人に生える根

鷹取西友前にある2坪ほどの花壇、昨年までは雑木が茂っていましたが、きれいに整地して花壇とし、4月にマリーゴールドなどの苗を植え、種も蒔きました。5月になって、蒔いた種の芽が出ると同時に、それ以上の雑草の芽も出てきました。3日に明けずに雑草抜きをするのですが、抜いても抜いても次から次へと生えてきます。雑草を抜くコツも身に着きました。茎の元を掴んで真上に引きます。すると、スポッと抜けてくる草と、抵抗しながらようやく抜ける草があります。前者はハルジオン、タチイヌノフグリ、カタバミなどです。後者はエノコログサやオヒシバなどです。

コロナ禍のステイホームで、毎日自宅でユーチューブ動画を見る時間が多くあります。見てみると、

TVコマーシャルでよく見る塾の学習講座があり、「中学1年生物・根の働き」とあるので見てみました。「植物には根があります。ヒマワリの1本の太い根は『主根』で脇にあるのを『側根』といいます。トウモロコシの細い根が何本も生えている根を『ひげ根』といいます。『主根』『側根』が生える植物は双葉で芽を出す『双子葉類』で葉の葉脈が網目になっています。ひげ根が生える植物は『単子葉類』で葉の葉脈が平行になっています」というような内容で、双子葉類と単子葉類の図解を見せながら、立て板に水の名講義でとても分かりやすかったです。説明が終わるとすぐに練習問題になりました。植物の根には、○根と○根がある仲間と○根がある仲間があります。○根と○根は○類で、○根は

○類。○のところに学習した名前を入れていきます。「そうですね。植物の根には、主根と側根とひげ根があり、主根は双子葉類で葉脈は網目、ひげ根は単子葉類で葉脈は平行ですね」。そのあと根の役割を説明し約10分の講義が終わりました。塾の勉強はとても分かりやすく、これなら知識が身につくはずだと感心しました。学校の授業ではこうはいかないでしょう。校庭の花壇に行き、抜ける、抜けないとワーワー言いながら何種類かの草を抜き、主根がある仲間とひげ根の仲間に分けて、ノートに図を書き、根と葉の関係の違いに気付かせ、単子葉類と双子葉類に分類します。ここまで50分、草抜きをした経験は身に付いても、子供たちにはどこまで知識が身に着いたか心配です。

塾ではどの教科も効率よく学習し、確実に知識を身に付け、テストで優秀な成績を収め、高校、大学へと進級して、成績優秀者は一流大学を卒業し、中には政治家や国家公務員になる人もいますでしょう。その公務員の上に立つ人の中に、この2～3年おかしな言動をする人がいると思うのは私だけでしょうか。戦争の反省から生まれた憲法を戦争経験がない総理大臣が改憲を言ったり、育児には饒舌なのにCO₂を排出する石炭火力発電所が建設されているのに黙っている環境大臣がいたりしています。

草抜きをしていると、小1ぐらいの男の子がスマホを花にかざして「マリーゴールドだ」とお母さんに教えていました。日本の農業は雑草との戦いであると聞きます。

葛にいる昆虫

鷹取山のそこかしこに繁茂している葛は、日本では昔から人々に親しまれてきました。黒蜜ときな粉をかけていただく葛餅はとても美味しいですし、葛根湯はなじみの深い漢方薬です。「万葉集」では山上憶良が葛花を秋の七草に詠んでいます。そんな葛は、昆虫たちの好む植物でもあります。葛の周りで良く見かける昆虫をいくつか紹介します。

鷹取山自然観察会の蝶類調査の対象は成虫の蝶ですが、ウラギンシジミ、ルリシジミの幼虫は葛の花や蕾、コムスジの幼虫は葉を食べます。目立たない幼虫を見つけるのは難しくても、成虫の蝶は、鷹取山でも普通に見られます。翅の裏が白く輝くようなウラギンシジミ、3月から飛び始める翅表の青いルリシジミ、グライダーのように滑空しながら飛ぶコムスジと、皆、特徴のある美しい蝶です。

葛の葉の縁がギザギザに食べられていたら、そこにはきっとコフキゾウムシがいます。5ミリほどの小さなゾウムシですが、盛んに葉を食べる交尾行動



ヒメジオンの主根と側根 エノコログサのひげ根

花壇のわずかな土地でそれを実感しました。しかし、いわゆる砂漠のような不毛の地域からすれば、日本のようにどこでも植物が茂る国土は、豊かな国土であるといえます。根は養分を吸収し植物を成長させ花を咲かせます。人間は経験という根から知識を吸収し、その知識が人間を成長させるといえないでしょうか。日本という豊かな国土で育つ子供たちが、丈夫な根を生やすにはどんなお手伝いができるだろうかと考えながら、今日も草抜きをしています。(市川 寛)

などをしています。葉上に産み付けられた卵から孵った幼虫は、土中で育ちます。

葛の葉が透けたようになっていたら、そこはおそらく、クズノチビタマムシの幼虫が食べた跡(マイン)です。クズノチビタマムシは葛の葉の中に卵を産み、孵った幼虫は葉の中を潜って食べ進んで蛹になり、羽化して成虫になります。成虫は3～4ミリで同じく葛の葉を食べますが、食べ跡は、まるで謎の文字でも書こうとしたようにグニャグニャ曲がった形になります。

葛の茎が不自然に膨れていたら、それは多分、オジロアシナガゾウムシの幼虫が作った虫こぶ(クズクキツトフシ)です。茎に産み付けられた卵は孵化して幼虫になり、葛の成長とともに大きくなった虫こぶの中を食べて育ち、空になった虫こぶの中で蛹になり、成虫になると外に出てきます。9ミリほどの頑丈な体は白黒に塗り分けられたようで、パンダゾウムシとも呼ばれます。

12～15ミリほどのホシハラビロヘリカメムシも、葛の葉の上で良く見かけます。カメムシの仲間是不完全変態で、幼虫も成虫と同じようにストローのような口で、植物の汁を吸って育ちます。

葛で見かけるカメムシと言えば、嫌われ者のマルカメムシを忘れてはいけません。成虫越冬するので、冬の好天に洗濯物に止まって日向ぼっこをしているのに気付かず、洗濯物が臭くなってしまったという話も聞きます。困りものの昆虫ですが、本来の棲家である葛に群がっている姿は、繁栄している一族の証を見るようです。マルカメムシの体を良く見ると、まるでロボットみたいに、体の後ろ半分（腹部）も、翅とは違う硬い表皮に覆われているのがわかります。これは、小楯板という普通は三角形で翅の付け根にあるものが大きくなって腹部まで覆っているのです。小楯板の下から4枚の翅が出てきて飛びます。カメムシの仲間の幼虫は、植物の汁だけでは栄養が足りず、育たないのではないかと心配になりますが、腸内細菌を親から子に受け渡して、この

問題を解決しています。マルカメムシの卵の側には、カプセルに入った腸内細菌が一緒に産み付けられ、孵化した幼虫はすぐに腸内細菌を摂取します。

最近では、マルカメムシだけではなく葛も、すぐに繁茂する厄介者の雑草として嫌われる傾向にあります。アメリカでは侵略的外来種となっています。日本から渡米した葛（Kudzu）は、「奇跡のつる植物」として20世紀初頭のアメリカ南部でもてはやされましたが、1997年には、連邦有害植物法に定める有害植物リストに入ることになりました。マルカメムシも葛と共に広がっているそうです。

人類は増え続け、グローバリゼーションが進んで、人間活動の広がりと共に様々な生物が世界中を移動するようになり、各地で外来生物が増えています。世界各地の美味しいものが食べられるグローバリゼーションは嬉しいのですが、感染症が広がるのは困りものです。気候変動なども含め、人類の活動に伴う様々なリスクについて、謙虚に考えてみることも大切だと思います。（三科 清高）



ウラギンシジミ



ルリシジミ



コムシジ



コフキゾウムシ



クズノチビタムシ



オジロアシナガゾウムシ



ホシハラビロヘリカメムシ



マルカメムシ

鷹取山自然観察会（ホームページを見て下さい）

HP：鷹取山自然観察会

<http://takatoriyama.eco.coocan.jp/>

連絡先：世話人代表： 本多久男 e-mail：takatori_0721@nifty.com